

## 各団体から現況と課題を発表

### 中部地区業界団体懇談会

## 技能実習・制度について講演聴く

10月25日、中部地区業界団体懇談会が名古屋市内の名古屋東急ホテルで開催された。

今回は愛知県が担当し、岐阜県3名、富山県4名、石川県2名、愛知県13名の計22名が参加した。

午後2時から懇談会を開催、中部日本プラスチック製品工業協会大松会長の挨拶に続き、愛知県プラスチック成形工業組合井上理事長が進行役を務め、次のように各団体から現況、課題の発表があった。

岐阜県の田中理事長は、「今年目指していた技能検定の合格率がアップした。また、製品価格の転嫁が進まないこと、人件費高で人手不足（技術系）が問題である」。

富山県の安田事務局長は、「現在、押出成形の技能検定が無いので、技能向上の為に富山県独自の取り組みとして、各社内で実施できる試験制度を厚生労働省に申請し、その認可を受けた」。



主催者として大松会長あいさつ



講演会（講師：南田あゆみ氏）

石川県馬場理事長は、「射出・真空成形の技能検定を実施、合格を目標にスキルアップしたい」。また、「コストの上昇分を価格転嫁できていない。石川は観光県でありコロナの後、人件費アップが激しい」。

愛知県は葛谷専務理事から、「技能検定会場を移転して初めて実技試験を実施した。環境が良くなった影響か合格率がアップした。愛知県では今年度外国人技能実習生の随時3級は減少、2級と基礎級は増加傾向である。現在国で技能実習制度の見直しが議論されており、経産省へ特定技能の業種指定を働きかけている」と説明を行った。

午後3時から、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)政策事業本部名古屋本部主任研究員兼外国人活躍推進室長南田あゆみ氏を講師に『技能実習・特定技能制度の今後と送り出し国の状況』というテーマで講演会が開催された。

現在国が行っている有識者会議による実習制度の見直しについて、10月18日最終報告書の概要が発表されたのを受け、その内容について詳しい説明が行われた。最も大きな変更点は技能実習制度を解消して、人材確保と人材育成を目的とした特定技能1号に移行するための3年間の育成期間を設ける。育成期間であっても一定要件を満たせば同一分野内に限り転籍を認めることが示された。

転籍の条件は、同一企業での就労が1年超、技能検定基礎級合格、日本語能力試験N5合格が必要となる。また、特定技能1号への移行条件は、①技能検定3級又は1号評価試験合格、②日本語能力N4合格(A2相当レベル)が必須となる。

不合格の場合は再試験のため最長1年の在留継続が認められる。この他管理団体の許可要件厳格化、不適正な送出国の排除などの案が示された。

続いて、送り出し国(ベトナム、中国、カンボジア、ミャンマー、インドネシア、フィリピンの6カ国)の状況(実態調査)について説明があった。各国の実習生が送り出し機関に支払った費用の平均は日本円にして65.6～9.4万円、実習生が実際に受け取った給料について、多い・期待通りは79.4%、少ないは20.6%であったと説明が行われた。送り出し国の状況について今まで知る機会が無かったので、各国の違いが良く把握できた。

懇親会では、愛知県の井上理事長の開会挨拶に続き、磯野協会副会長の乾杯でスタート。和気あいあいの中で、懇談会の続きなど友好を温めた。

最後に、次回開催の石川県の馬場理事長が

「来年4回目の開催となる。年一回の懇親の機会でもあるので、皆さんが期待されている美味しい食事ができる会場にします」と挨拶。続いて、児玉副会長の中締めでお開きとなった。

### 【令和5年度】

〈第6支部会〉

9月22日

[木曾川鵜飼遊覧]

和泉化成(株)、(有)ウサミ化成、(株)タイセイプラス、名古屋

屋燐寸(株)、(有)花井化成、山勝工業(株)、光田合成工業、事務局



## 令和6年新年賀詞交歓会

1.日 時:令和6年1月16日(火曜日)  
午後3時30分～7時  
(受付 午後3時開始)

2.場 所:「ANAクラウンプラザホテル  
グランコート名古屋」  
名古屋市中区金山町1-1-1  
TEL (052) 683-4111

### 3.開催要領

【新春講演会】午後3時30分～4時45分  
演題:「外国人実習制度改革の行方と影響」  
講師:AOI国際法務事務所  
代表/特定行政書士  
間瀬英智氏

【賀詞交歓会】午後5時～7時  
(立食形式)

**東洋化学株式会社**

MITSUBISHI GAS CHEMICAL GROUP

エンプラ筐体・自動車部品内装・偏光サングラスレンズ  
に豊富な経験があります

ものづくりのネットワークを大切にしております

〒470-0151  
愛知県愛知郡東郷町踏字百々51番497  
TEL 0561-39-0531 FAX 0561-39-0534  
URL <http://www.toyo-kagaku.co.jp>

プラスチック表面処理の  
一貫生産が可能!

金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください!

成形・めっき・蒸着・塗装・組立等  
プラスチック表面処理の一貫生産メーカー

**東洋理工株式会社**

〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地  
TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355  
URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

## ファナック本社工場見学 山梨県で合同支部会を開催

11月15日（金）、16日（土）の両日、今回で16回目となる合同支部会が開催された。

合同支部会はコロナ渦で3年連続の中止となり、2019年の(株)スター精機・出雲工場見学以来4年ぶりとなった。今回は組合員12名、事務局4名の計16名が参加した。

暑さが残る晴天の中、参加者は早朝7時30分名古屋駅に集合、各位観光バスに乗り込み7時40分に出発した。

バスは名古屋高速から新東名高速を利用して、新御殿場ICを通過。その後東富士五湖道路須走ICに入って山中湖ICで降り、12時頃に山中湖畔の〔和食和み〕で昼食を採った。

昼食後バスは13時にファナック(株)・本社工場に到着した。現地は山梨県忍野村にあり、178万㎡と広大で多数の工場が点在するため、会社先導車の後に付いてショールーム棟に到着した。参加者は社員8名の出迎えを受け、会議室に招かれた。



本社工場の概要説明を聞く



工場内の見学

ファナック(株)は昭和47年富士通の自動化開発部門として設立、基本技術であるNCとサーボ、レーザからなるFA事業と、基本技術を応用したロボット事業、ロボマシン事業を展開している。社員数は本社、各工場、国内外の拠点を合わせると9,000人、そのうち開発に従事するのは3,000人という規模で日々研究・開発を行っている。

始めに会社案内のビデオを約20分視聴し、会議室に隣接したショールームを見学した。

ここはファナック製のサーボモーターやロボマシン、AI技術などの商品群が陳列されていた。

その後、各工場のうち6カ所を順番に案内され、説明を受けた。最初は機械の加工工場、ここはロボットやレーザの部品を加工していた。2番目はロボショットの組立工場、作業者が協働ロボットと協力し組立をしていた。ボールネジアッシー組立システムでは治具レスでロボットがボールネジをセットする事で省力化が図られていた。3番目はロボットの組立工場、ファナックロボットを多数用いた自動組み立てシステム、ロボットがロボットを組み立てる光景は

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

**STAR**

Quality First

株式会社スター精機  
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587 (95) 7557 FAX 0587 (96) 1291

浜松営業所 TEL 053 (432) 6131 富山営業所 TEL 076 (492) 3260  
静岡出張所 TEL 054 (289) 2247

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)  
出雲工場 /〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3538 TEL0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

**PLASTICS WORLD  
YAMASO**

**山宗株式会社**

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825  
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138

東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京・茨城  
浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋・九州

大変興味深く映った。4番目は信頼性評価棟、20年経っても壊れないよう温度や振動、加速寿命と評価試験を同時に多数行い、信頼性の向上を図っていた。

5番目はサーボ工場、サーボモーターは月120,000台、サーボアンプは月76,000台を製造している。特に自動組立を駆使した様子は圧巻であった。6番目は修理工場、生涯保障を旗印にプリント板からサーボアンプ、CNC装置にいたるまでビフォー/アフターで再生している。それぞれの部品は電子データ化しているため、これらのノウハウは人手による技能継承に代わりつつあるようだ。

各工場ではロボマシセールス推進部の福富課長とロボショット研究開発本部の内山本部長の二名が分担し、きめ細かく説明していただいた。工場見学の後、導入中の参加者もいたため質疑応答が多数あり、お礼の挨拶、集合写真の撮影のあと、16時30分頃見送られるなか、ファナック(株)・本社工場をあとにした。

参加者を乗せたバスは、山中湖インターから中央道の一宮御坂インターを降り、甲府駅近くの〔ドーマーイン甲府〕に17時30分に到着した。



成形（ロボショット）の説明を聞く



記念撮影する一行

一行は手荷物を各部屋に置いてすぐそのまま徒歩で懇親会の会場〔江戸前〕に向かった。乾杯の発声に続き飲食しながらの歓談は4年ぶりともあって、参加者相互で話が弾み大盛況のなか1日目は終了した。

2日目はゴルフ組と観光組に分かれての行程となった。

ゴルフ組は早朝6時20分に出発。7時ちょうど〔甲斐ヒルズカントリークラブ〕に到着、7時32分スタートで2組8名がラウンドした。Wペリア戦の結果、(株)オプコ 尾崎社長が優勝した。

一方、観光組は8時30分にホテルを出発。〔あすなろ園〕でぶどう狩りを堪能した後〔サンドメイズ清里〕に向かい昼食・散策（ロープウェイで頂上に、甲府盆地を一望等）して、〔ハケ岳チーズケーキ工房〕を経由して、一路ゴルフ場へ向かった。

バスは14時40分にゴルフ組と合流し、中央道の韮崎インターから名古屋へ。参加者同士での懇談、各観光地の話が弾むなか19時頃、名古屋駅西口に到着した。バスから降りて一行は解散、お土産を多く抱えるなか家路に着いた。



## NEX-V

“成形現場のHUBとなる新しい成形機”

—— 新型 電気式高性能射出成形機 ——

- 東海営業所 / TEL(0568)75-9555(代)
- 〒485-0039 愛知県小牧市外堀 2-167
- 岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430
- 三重出張所 / TEL(059)272-4065
- 静岡出張所 / TEL(054)655-5656
- 浜松出張所 / TEL(053)423-0205



**日精樹脂工業株式会社**  
射出成形機・金型・成形支援システム  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

- 本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条 2110 TEL(0268)81-1050

### 株式会社 ユーシン精機

## YUSHIN

本社・工場	〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地 TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033
中部統括営業所	〒442-0809 愛知県豊川市大橋町 2 丁目 62 番地 TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020
名古屋西営業所	〒511-0065 三重県桑名市大井町 21 番 9 号 TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505
静岡営業所	〒422-8037 静岡県駿河区下島 210 番地の 2 TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847

## 令和5年度前期技能検定

令和5年度前期技能検定プラスチック成形射出成形作業1・2級の合格者が、9月29日愛知県職業能力開発協会から発表された。

射出成形の技能士の合格者数と合格率は、1級49名・24.1%（昨年比+1.6%）、2級179名・33.8%（+8.5%）、実技試験の合格者数と合格率は、1級52名・26.9%（+3.8%）、2級174名・35.4%（+6.7%）の結果であった。全国平均は、1級技能士25.8%（実技28.0%）、2級技能士33.6%（実技39.6%）であった。

真空成形は、技能士合格者数と合格率は、1級1名・100%、2級16名・53.3%の結果であった。

## 反省会で今後の改善点提起

令和5年度前期技能検定が終了し、その結果報告と実施上の改善を図るための反省会が、10月6日午後6時より〔名古屋東急ホテル〕で行われた。なお、コロナも緩和されたことで久々に慰労を兼ね懇親会も行われた。



井上理事長



古川健一氏

反省会では、井上登永理事長、愛知県職業能力開発協会技能検定課課長古川健一氏があいさつ。井上理事長は「愛知県プラスチック成形研修センターが始動し、前期技能検定実技試験が滞りなく実施できたことは感慨深いものがある。本日は、忌憚のない意見を交え次に繋げて行ける有意義な会にしたい」。また、古

川課長は「猛暑の中、700名に及ぶ受検者が試験に臨むことができ、その適切な試験実施に感謝している。今後も引き続き協力をお願いしたい」とそれぞれ述べた。

次いで技能検定委員会立木繁委員長から、実技試験の合格率、〈受検者の作業〉や、〈採点・判断〉などを設問とする検定委員対象のアンケート結果、来年度に向けての変更、改善点について次のように発表があった。

## 立木繁委員長コメント

令和5年度の射出成形1・2級技能検定試験の実技試験が、6月6日から9月6日までの3ヶ月間に渡り実施されました。8月25日の採点会議（2級製品検査）を経て、9月29日の合格発表を以って今年度の技能検定実技試験の全日程が無事終了しました。

今年度から検定会場が東海市名和町に移転となり、新たに〔愛知県プラスチック成形研修センター〕の名のもとに初めての試験が実施されました。研修センターについては、昨年末までに受電設備設置工事、成形機等の機械設備移

### 過去の申請者・合格率の推移

年度	実技申請者	1級実技申請者	2級実技申請者	1級実技合格率	2級実技合格率
平成25年	825	260	565	18.8%	32.0%
平成26年	864	284	580	21.5%	31.0%
平成27年	863	260	603	11.2%	25.4%
平成28年	829	278	551	28.8%	34.3%
平成29年	715	236	479	21.2%	30.3%
平成30年	736	228	508	23.7%	28.1%
平成31年	750	242	508	23.6%	31.1%
令和3年	746	203	543	24.1%	29.7%
令和4年	714	212	502	23.1%	28.7%
令和5年	684	193	491	26.9%	35.4%

**株式会社ハーモ**  
樹脂不足と人手不足を補うハーモのラインナップ

**TOTAL LINK**  
GRAN CUTTER

本社工場：長野県上伊那郡南箕輪村4124-1 TEL.(0265) 72-0111(代)  
名古屋営業所：愛知県名古屋市天白区平針3-902 TEL.(052) 804-6311(代)



プラスチック原料販売及着色加工  
**永興物産株式会社**

本社 〒491-0828

愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8

TEL 0586-77-4033

FAX 0586-77-8014

<https://eikoubussan.jp>





立木委員長

設・設置工事を終え、年明けから春先までの期間で内部の配線・配管設備を整え、3月からの技術講習会及び、実技試験の実施に間に合わせる事ができました。

新会場が無事、稼働できたのも関係各位の皆様のご助力の賜物と深く感謝申し上げます。

新会場となって、良好な環境は維持しつつ、可能なところは改善を図り、より使いやすい会場にしていきたいと思っております。

試験の実施状況につきましては、コロナ感染等による検定員、補佐員の急な変更など、コロナ禍の影響が若干あったようですが、大きな混乱もなく予定を消化することができました。急な変更に伴う検定員、補佐員の出務要請に対して、ご協力いただきました各位には、改めて感謝申し上げます。

今年の技能検定試験については、1級193名、2級491名、合計684名の受験者となり、近年の通減傾向は変わらず、700名の水準を下回る受験者数となりました。ピーク時には900名を超えていた受験者数について、今後の推移を注視していきたいと考えております。

合格率については、1級26.9%（昨年23.1%）、2級35.4%（昨年28.7%）という結果となり、1級・2級とも合格率が上昇しました。特に2級の合格率については、10数年振りに35%を超える結果となりました。

今年度の内容を数字から考察しますと、①失格率が例年よりも低かった（特に2級でR5 = 42%・R4 = 56%）②再受験と思われる受験者

#### 令和5年度後期技能検定 受検申請状況

作業別	級別	受 検 区 分						合計	実技	学科
		A甲	A乙	A丙	B	C	D			
プラスチック成形	特級	26	2		17			26	45	
射出成形	3級	35	2	1	2	1		41	37	



検定委員が参加して行われた反省会

（C区分の受験者）の合格率が例年と比較して非常に高かった（特に2級でR5 = 48%・R4 = 34%）、この2点が全体の合格率を引き上げたのではないかと推察されます。

今後、愛知県の当面の目標合格率としては、1級が30%、2級が40%になろうかと思っております。（2級については過去に40%超えた実績あり）

コロナ禍の影響で開催が見送られておりました技能検定反省会・懇親会ですが、今年は4年振りに開催することができました。（10月6日開催）

今後の検定事業をさらに良くしていくため、さらに検定実技試験実施が無事に終了したことに対する慰労の場として貴重な機会ですので、来年度以降も内容を充実させて開催していきたいと思っております。

来年度に向けての活動指針としまして、検定員の採点水準の平準化を目指して、採点方法についての技術マニュアル策定に取り組んでいきたいと考えております。

愛知県は他の都道府県に比べて圧倒的に受験者が多く、それに伴い検定員の人数も100名に近くっており、各検定員の採点水準を合わせていくことが重要です。採点チェックシートを活用することにより平準化を進めていきたいと思っております。

最後に、関係各位の検定試験実施に対する従前同様のご協力に感謝申し上げますとともに、技能検定運営への一層のご助力をお願い申し上げます。

## 職業訓練校レポート

中部日本プラスチック職業訓練校では、9月、10月における授業で次の見学を実施した。

社会：アロン化成ものづくりセンター／INAX  
ライブミュージアム

電気工学概論：でんきの科学館

金型の構造：メカトロテックジャパン2023

提出されたレポートを紹介する。

## アロン化成／INAX見学

### ■(株)鈴木化学工業所：N.N

9月21日にアロン化成ものづくりセンターへ見学に行きました。

まず驚いたのは、思っていたよりも自分の生活に多く関わりがあったことです。アロンアルファは、普段使うことがあり知っていましたが、そのほかにも配管（主に下水や給水、土木雨水などの水道設備）や、エラストマーを使ったペンのグリップ、介護用品など様々な事業を行っていました。

その中でも、塩化ビニルの配管においては、1951年に国内で初めて硬質塩化ビニル管（アロンパイプ）の開発に成功し、その後は継手やマスなど、管材の分野において、パイオニアとして市場を開拓してきました。見学した流水実演コートでは、実際に使われている配管を透明にし、下水の流れを可視化できるブースがあり、トイレの水がどうやって下水管を流れるかを初めて見ることができました。法で定められているぎりぎりの傾斜がついた配管とアロン化成が定めたより傾斜がついた配管と2種類あり、パッと見ただけでは気づかないほどのわずかな差

でしたが、水の流れやすさは明確でした。法で定められている傾斜でもほぼ問題なく流れましたが、もし途中で汚物が止まったりすると悪臭や劣化の原因になってしまいます。その点、アロン化成の配管はスムーズに流れました。

この見学を通し、材料だけでなくわずかな傾斜にもこだわり、実際に使う顧客への寄り添いを感じました。また、実際に使用するときを考えて製品を創ることは今後自分にも活かしていきたいと思いました。

午後からに常滑市にあるINAXライブミュージアムに見学に行きました。コンセプトである『観て、触れて、感じて、学び、創り出す』からも分かるように、様々な体感ができる館が多くありました。

その中でも印象に残っているのは、〔建設陶器のはじまり館〕と〔やきもの工房〕です。〔建設陶器のはじまり館〕では、大正から昭和初期、新しい時代の建物が次々と建てられ〔建築陶器〕と呼ばれるやきもの製のタイルとテラコッタが展示してありました。テレビなどで見たことのあるものもあったり、自分が生まれる前の物もあったりと興味深い展示が多くありました。一貫して左右対称のものが多いと感じましたが、その中にも時代ごとに装飾が違い面白かったです。〔やきもの工房〕では、やきもの基礎知識をはじめ、当工房で製造したタイル・テラコッタの復原品、クリエーターとのコラボレーションの一部を展示していました。さまざまなタイルの見本を実際手に取って見れるようになっており、同じやきものでも土器や陶器で密度、手触りの違いを実際に体感することができました。また、芸術家・建築家などとの交流

TOYO  
**Customer's Value Up**  
～お客様の商品価値向上をめざす～

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機  
<http://www.toyo-mm.co.jp>  
中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1-1202  
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

プラスチックの無限の可能性を追い求める  
プラスチックの総合メーカー

 **ISE 岐阜プラスチック工業株式会社**

リスのプラスチックグループ 取り扱い製品

物流産業資材、食品包装容器、家庭用品、ハニカムパネル、土木建築資材、塩ビ管接手、スポーツ資材、工業・医療機器関連品

によってできるものづくりの一部を見ることができ、面白かったです。

やきものとプラスチックでは、製造方法は違いますが、『ものづくり』という観点では、似ている部分もあり、とても参考になる見学でした。

#### ■(株)西浦化学：Y.Y

9月21日、社会見学でアロン化成ものづくりセンターを見学させていただきました。

アロン化成は、会社名は聞いたことありましたが、どんな会社なのか、何を作っているのかわらなかったので正直楽しみでした。

まず、初めに紹介されたのが透明配管を使用した流水実演です。スポンジを汚物にみたく、トイレトーパーあり、なしで流すとどうなるのか？という実験でした。トイレトーパーなしよりトイレトーパーありの方が流れるスピードが速かったです。トイレトーパーには汚物を押しながらかけて流れているみたいで拭くためだけではないことに驚きました。次は塩化ビニルパイプについてです。アロン化成は日本で初めて塩化ビニルパイプの製造に成功した会社だそうです。このものづくりセンターには日本化学会化学遺産認定書と重要科学技術史資料登録証と日本で初めて製造された硬質塩化ビニル管が展示されていました。開発力があるからこそ、こういったことがで



世界のタイル博物館前で

きるのを感じ、自分もより一層仕事に専念しようと思えました。次はエラストマー事業部です。玩具、医療、食品、家電といろいろ展示されていました。ボールペンのグリップ部にも使われていたりFRIXIONの消す部分もエラストマーで、言われてみればそうかもと思う製品がいっぱいでした。

最後はライフサポート事業部です。『安寿』というブランドで排泄、入浴、住宅改修、移動歩行、生活支援とさまざまな商品がありました。炭を使用して匂いのしないトイレ、小便しても音が聞こえないトイレなどお客様が気になるであろうところを理解しそれを商品にできることも、ものづくり力あつてのことなんだろうなと思いました。ここで学んだものづくりを会社でも発揮できるようにしていこうと思いました。

#### ■笠寺プラスチック工業(株)：R.G

午前中はアロン化成ものづくりセンターを見学させていただきました。アロン化成は大きく管材事業とライフサポート事業、エラストマー事業があります。その中、一番印象に残ったのは管材事業でした。

アロン化成は1951年に日本最初の硬質塩化ビニル管の開発・製造に成功しました。その後は土管の代わりに塩化ビニル管を普及すると共に独創的なアイデアで色々な製品を開発しました。例えば、集中豪雨などで排水管に排水が急激に流れると排水管内の空気が圧縮され、管内圧力が高まります。場合によってはその高圧が建物に影響を及ぼし、トイレやキッチンなどの封水が飛散する可能性があります。それを解決するために〈塩ビ製吸気ふた〉を開発し、排水管内

粉粒体用機器 & システム

**KAWATA**

究極の省エネ、省スペースに挑み続ける

株式会社 **カワタ** [www.kawata.cc](http://www.kawata.cc)

名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号  
TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450

**Sumitomo**  
SHI **DEMAG**

住友重機械工業株式会社 プラスチック機械事業部

国内営業部 中部営業所  
〒465-0045 愛知県名古屋市名東区姫若町14-1  
営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806  
サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806  
URL <http://www.shi.co.jp/plastics>





アロン化成ものづくりセンターで

の圧力を逃がすようにしました。そのほかに大規模排水設備での逆流対策で〈逆流抑制継手〉や施工品質及び施工品質を両立した〈ヒューム管・陶管用QE支管〉なども開発しています。このようにそれぞれの問題、需要に対して積極的研究開発して、社会貢献をしている会社です。

午後はINAXライブミュージアムを見学しました。土管やタイル、便器などの歴史、変革などの中、土管をメインで見てきました。塩化ビニル管を普及する前に排水システムに土管をメインとして使用してきました。生産過程も樹脂成型と似ていますが、その後大きな窯で焼く必要があります。その中、塩釉の土管は1250℃という高温で焼造されるそうです。そのため、強度や水漏れに強い最高品質と全国の評価を得たそうです。

今日一日は普段接することの無い物を見学しました。特に下水道の土管から現在の塩化ビニル管への歴史はとても勉強になりました。このように日々の生活でプラスチックはとても重要な役割を担ってきました。今後はどんな変化をもたらすのかを楽しみにしていますし、その参加者の一人にもなりたいたと考えています。

## でんきの科学館見学

■(株)鈴木化学工業所：A.K

9月28日に名古屋市のでんきの科学館を見学させていただきました。

はじめに、これまで勉強してきた法則や現象がどのように発見され、利用されてきたかという歴史を見ることができました。講義を受けているときには、さまざまな法則がどのような装置に利用されているのかまでは考えが至っていませんでしたが、今回の見学でそこが結びつき、より実用的な知識になりました。

その後は各発電方法のメリット、デメリットや日本のエネルギー自給率についてのコーナーを見ました。そこで日本のエネルギー自給率は12%と非常に低いことがわかりました。自給率のモデルと一緒に展示されていたフランスは55%、アメリカが98%、ノルウェーが700%だということを考慮すると、非常に低い数値であることが理解できました。現在の日本では火力発電、原子力発電が全体の多くを占めており、エネルギー自給率を向上させ、安全性、安定性を求めるにはそれ以外の発電方法の割合を高くする必要があると感じました。再生可能エネルギーは日本でも利用できるため、今後は、より安定した再生可能エネルギーの利用方法を模索すべきだと思います。

発電方法ごとの特色を学んだうえで、日照時間が長い緯度に位置することを利用した太陽光発電、山岳が多いという地形を利用した水力発電、北海道や九州などの風が強い地域を利用した風力発電、火山活動が盛んであることを利用した地熱発電、農業や林業が盛んである場所で

**ISONO**

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

**いその株式会社**

名古屋市東区相生町55 〒461-8630  
TEL(052)931-1211(代)  
FAX(052)930-1975

**Togo**



東郷産業株式会社

取締役社長 相羽 哲弘

取扱製品：自動車、船舶、産業機械、船舶、航空宇宙防務の資材、特殊鋼・合金鋼、工場設備機械の販売

〒480-0012 名古屋市中区千代田五丁目4番16号 品質保証ISO9001:2015取得 環境保全ISO14001:2015取得

TEL 052-251-5371 FAX 052-251-5381 <http://www.to-go.co.jp/>

のバイオマス発電などが日本に適した発電方法ではないかと考えました。

科学館の展示で私たちの日常生活に電気がどれだけ深く結びついていることを再確認させられました。多くのテクノロジーは電気という土台の上に成り立っており、今回の見学では、その重要性を改めて考える良い機会になりました。

■(株)タイセイプラス：R.Y

9月28日木曜日に電気工学概論の一環で名古屋市にある「でんきの科学館」に見学に行かせていただきました。近くにはあるものの見学自体は子供のころ以来だったので大変良い機会でした。

まず2階にある電気の発見フロアでは電気の成り立ちとそれに貢献した歴史上の人物について様々な展示物とともに学ぶことができました。電気工学概論で学んだ様々な法則の生みの親を歴史とともに簡易的な実験も交えて体験することができました。

3階の電気の旅のフロアでは現代の電気の流通の仕方をミニチュアの模型と液晶で見学しました。電気工事士の役割や作業風景を疑似体験でき、電気が私たちの暮らしにどれほど密接につながっているのかを再確認する良い機会となりました。

時間の都合上アカデミアシアターの見学はできませんでしたがここでは様々な発電の仕方を映像とともに学ぶことができるそうです。

またオームシアターでは大画面での体験型アトラクションを楽しみました。各アトラクションでの総合順位による優勝者にはインタビューもあり大人でも首をひねるような問題もちらほ



でんきの科学館入口で

らとあって思った以上に白熱していました。

4階のふしぎのくにのフロアでは目の錯覚効果やジャイロ効果などを体験できる大型の装置があり実際に体験することで体で学ぶことの重要性となにより楽しさに改めて気づかされたような気分でした。

射出成形技能では電気自体はあまり掘り下げた学習はないのですが今回の見学を経て電気に関する法則の数々やそれに関する歴史上の人物の生い立ちと発見の数々を学ぶことができたのはとても貴重な経験となりました。

■(株)西浦化学：Y.K

9月28日、名古屋市にあるでんきの科学館を見学させていただきました。

中部電力が運営する施設で、校外学習や社会科見学で多く使用されると聞いていたので子供向けの施設と思っていましたが、展示物に触れたり、スイッチを押したり、ゲームに参加したり、電気の事をほとんど何も知らない自分にも非常にわかりやすく、子供から大人まで楽しめる内容でした。

2階の展示エリアでは、電気の発見から、静

 **株式会社 三幸商会**  
取締役社長 若尾 剛  
名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075  
TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141  
**Sanko Shokai Co., Ltd**  
3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan  
TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

全電動射出成形機  
**JADS**® SERIES  
すべてのお客様に最大限の安心を  
すべてのお客様の問題を解決  
●Satisfaction ●Smart ●Strong ●Stable  
**JSW** 株式会社 日本製鋼所  
●名古屋営業所 TEL.052-222-1271 ●株式会社ニップラ 名古屋営業所 TEL.0561-74-7400

電気・電池・発電方法という電気電子関係の歴史を勉強したり、身近な電気がどこで作られ、どうやって運ばれてくるのか、といった社会インフラに関する展示物エリアなど、大人になって改めて勉強になる内容ばかりでした。

3階の展示エリアは、街中で見かける電気工事の内容、郊外で見かける鉄塔の役割、家の中のコンセントや電気配線の事など、身近なもの仕組みが分かりやすく解説されていました。

高い高いと言われている電気代ですが、むしろたったこれだけの使用料金で電気が当たり前に見える現代をありがたく感じたのと同時に、まだまだ電気に関する知識不足を感じ、今後より一層電気に関する基本的な知識を身につけたいと思いました。

## MECT2023見学

### ■笠寺プラスチック工業(株)：R.G

今回メカトロテックジャパン2023を見学させていただきました。

たくさんの工作機械が展示してあり、その中特に気になったのは三菱電機が展示している〈ワイヤ・レーザ金属3Dプリンター〉です。こちらはDED方式を採用し、高速制御に適したレーザ光を熱源に、造形状態に応じて正確に熱エネルギーを制御することで、高速な積層造形を実現しています。また、ワイヤとレーザの組み合わせにより、高い緻密度で空孔が少ない造形が可能となり、独自のきめ細かな入熱制御が加わることで高品位な積層造形を実現できます。そして、供給する材料は粉末ではなく、市販の溶接ワイヤを使用しており、材料の利用効率が高く、材料の飛散が少ないです。

展示場には円筒状基材にプロペラ翼を造形した船用のプロペラや基材にマルエージング材を肉盛り補修した金型(一部)、3Dスキャンデータから作った中空の手などを展示してあります。〈ワイヤ・レーザ金属3Dプリンター〉で造形後に切削加工が必要ですが、プロペラの例で、従来の加工方法から約80%加工時間を削減することが可能です。

〈ワイヤ・レーザ金属3Dプリンター〉は後加工が必須ですが、協働ロボットとマシニングセンタを一緒に組み合わせれば無人化もできるのではないかと考えます。

そのほかに金型の授業で習っていた金型加工のワイヤー放電加工や型彫り放電加工、レーザ細穴加工など、さまざまな機械が置いてあり、実演しながら説明をしていました。実際の加工作業を見て、より理解を深めることができました。

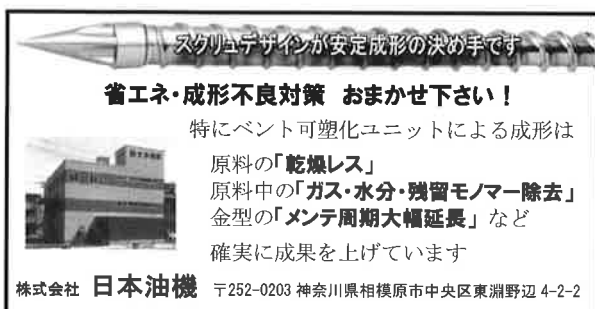
最先端の工作機械は省人化、無人化が進んでおり、操作方法も簡略化しています。これからの物づくりのさらなる進化が楽しみです。

### ■(株)鈴木化学工業所：A.K

10月19日にポートメッセなごやで開催されたメカトロテックジャパン2023を見学させていただきました。

会場では成形機や取り出し機などのプラスチック成形に関する出展や異なる業界からの企業も出展しており、さまざまな分野での新たな製品が紹介されていました。専門外の自分が見ても素晴らしさを感じることが出来るものもあり、特にAIなどを使用して、自立稼働を実現させた機械から技術の進歩の速さを実感しました。

その中でも特に印象に残っているのはFAN



スクリーンデザインが安定成形の決め手です

**省エネ・成形不良対策 おまかせ下さい!**

特にベント可塑化ユニットによる成形は

原料の「乾燥レス」  
原料中の「ガス・水分・残留モノマー除去」  
金型の「メンテ周期大幅延長」など

確実に成果を上げています

株式会社 日本油機 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2



**中村科学工業株式会社**  
NAKAMURA KAGAKUKOGYO CO., LTD.

【営業品目】  
材料輸送機 / 除湿乾燥機 / ホットボードライヤー / 真空乾燥機  
金型温度調節機 / ロール温度調節機 / 冷却プラント及び水処理装置  
質量式混合機 / 箱型乾燥機 / ミリ波水分測定システム  
エンジン試験サポート(テストベンチ用装置)

本社工場: 〒444-0951 愛知県岡崎市北野町高塚101  
TEL 0564-31-2919(代) FAX 0564-31-9435

関東支店: 〒362-0064 埼玉県上尾市大字小敷谷862-10  
TEL 048-778-8031 FAX 048-778-8032

除湿乾燥機 NLG50【ローダー—体型】



ファナックのロボットアームについて説明を聞く

UCのコーナーです。まるで人間のように行動し、溶接、レーザー、搬送などを行なってくれるロボットアームが紹介されていました。ロボットによる自動化の割合が向上すれば、繰り返し作業を高い速度で一貫性のある品質を保って行うことができ、疲労を考慮せずに24時間連続的に生産できるため、稼働時のコストが人間よりも低く、生産性が向上します。そのコーナーで紹介されていたのは一部の製品だけでしたが、それだけでも応用の幅が広い技術だと感じました。

また、生産技術だけでなく安全性にも考慮されており、人間とともに稼働させる協働ロボットは手で少し触れると停止する仕組みになっており、実用を考えた完成度の高さに感心しました。

今回の展示会では会社で働いているだけでは考えられないような生産技術の進歩を目の当たりにしました。成形などの専門分野を重点的に見て回りましたが、直接的に関係のない分野でも興味深い技術がありました。そのため、技術改善を行うためには専門分野だけに止まらず、広い視点を持つことが必要だと今回の見学で学ぶことができました。新しい技術に関する感度を高くして、現状よりもより良いものを求める

姿勢を忘れないようにしたいと思います。

#### ■(株)西浦化学：Y.K

10月19日、ポートメッセ名古屋で開催されているメカトロテックジャパン2023を見学しました。国内最大規模の工作機械の見本市であり、国内外から過去最多の492社が出展しており、多くの方が来場されていました。

たくさんのブースを見学させていただき、その中でも特に印象に残った豊川市の企業、j p キュービックを紹介します。同社はプラスチック部品の切削加工による樹脂部品を製造する会社で、医療機器・半導体・電子機器・自動車・など高い技術が求められる業界の新製品の研究開発に係る試作部品や小ロットの量産品を製造しています。ブースではブロック形状の透明なアクリルから切削加工のみで作られた実物大の昆虫が展示されており、樹脂の中でも加工難易度が高いとされるアクリルですが、ちょっと触れただけで折れそうなほど繊細な〈クモの巣〉をはじめ、触覚や爪など細部まで忠実に作りこまれた〈クモ〉と〈クワガタ〉の3種類が展示されていました。〈クモ〉は、胴体長が13.9mm、幅が3.9mmと非常に小さいのですが非常に透明感がありました。切削抵抗を抑えながらこれだけ複雑な形状を切削加工だけで透明に仕上げる微細加工の技術力の高さに他の来場者の方たちも、大変驚いた様子でした。

今回の見学を通して、多くの学びがありました。今後も成形の勉強をするとともに、他分野の技術についても学び見聞を広めていきたいと思えます。

一生涯のパートナー

**第一生命**

 Dai-ichi Life Group

**第一生命保険株式会社**

ホームページ

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

**成形工場の見える化/IoTの実現!**

生産管理システムのことならお任せください

**muratec** ムラテックフロンティア株式会社

〒484-8502 愛知県犬山市橋爪中島2  
TEL:0568-63-2311 FAX:0568-63-5779  
<https://www.muratec.jp/fs/>

# 《2023年7～9月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 236 社

## 1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	69 社	中部日本	81 社	西日本	86 社
-----	------	------	------	-----	------

## 2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	25 社	包装用容器・キャップ	30 社	電気・電子・通信部品	29 社		
自動車・輸送機器部品	96 社	住宅関連	14 社	医療機器	5 社	その他	32 社

## 3. 従業員数の内訳

20人未満	37 社	21～50人	61 社	51～100人	63 社	101～300人	46 社	301人以上	20 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

## 4. 今期(2023年7～9月期)の自社業況について(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

	2023年7～9月期(実績)											
	前期(2023年4～6月期)比						前年同期(2022年7～9月)比					
	1.増加(→)		2.横這(→)		3.減少(→)		1.増加(↓)		2.横這(→)		3.減少(↑)	
①生産・売上高	32.2	32.9	42.8	42.1	24.6	25.0	39.4	42.9	30.1	30.4	28.8	25.4
②製品単価	22.0	27.9	72.0	67.1	5.5	5.0	45.8	47.5	46.6	48.3	5.9	2.9
③採算	16.9	17.1	54.2	51.3	28.4	31.3	28.0	25.4	40.3	41.3	30.1	32.1
④所定外労働時間	19.1	14.6	62.3	64.6	17.8	20.4	22.9	20.4	55.1	57.9	19.9	20.4
⑤製品在庫	19.5	20.0	64.4	57.9	15.3	21.3	22.0	24.2	55.9	54.6	20.3	18.3
⑥樹脂原料単価	46.2	48.3	49.2	43.8	4.2	7.1	56.4	63.3	36.4	25.8	5.5	8.3
⑦総合判断	17.8	17.9	53.4	55.8	27.1	26.3	27.5	26.7	38.6	41.7	30.5	30.4
⑧来期の見通し	19.1	20.0	53.0	51.7	23.3	23.8						

## 5. 当面の経営上の問題点(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

1. 売上不振	39.8	36.3	2. 輸出不振	1.7	2.5	3. 製品単価安	32.2	27.9	4. 取引条件悪化	2.5	1.7	5. 過当競争	5.1	4.6	6. 輸入品との競合	0.8	2.1
7. 流通経費増大	17.8	20.8	8. 原材料高	57.6	60.0	9. 借入負担増	5.5	6.7	10. 銀行貸し渋り	0.0	0.4	11. 人件費高	48.7	44.2	12. 採用難	40.7	40.8
13. 技能者不足	26.3	26.7	14. 技術力不足	11.4	8.8	15. マーケティング力不足	4.7	6.7	16. 設備過剰	1.3	2.5	17. 法的規制	2.5	3.8	18. 為替問題	8.9	5.0
19. 環境問題	3.4	5.8	20. 人材育成	36.4	34.2	21. 研究開発	3.0	3.3	22. 事業承継	2.1	5.4	23. その他	2.1	7.5			

## 5-2. 当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- 電気料金高 ※同類回答 他3件有
- 設備の老朽化 ※同一回答 他1件有
- 採用難 新卒採用25から28万円
- ユーティリティコストアップ
- 人手不足
- 人件費・経費等を売り上げ単価に転嫁しにくい状況が続いている。

### ○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- 忙しさは増し売り上げも伸びているが、人手不足が極端。
- 販売側の振込手数料負担が無くならない。
- 売上が長く横ばいであるが、その間諸経費はかなりのスピードで上昇し続けている。後期の景気対策が欲しい。
- 人件費他コストアップになっているが、客先からはコストダウンを要求されているのが実態で、国の指導が必要と思われる。
- 賃金の上昇を国はアピールしていますが、中小企業には原資が不足であるので困難な先行きです。新卒の採用ができていないので、技能実習生の受け入れを多くして人手の確保を行う。特定1号2号の人材と留学生の採用を増やす。
- 前年比・前期比で売上は回復しているものの、一部足元で受注減少・稼働がいまいち。物価高騰の影響で節約ムードのせいでしょうか。先行き不透明です。
- 今年はコロナの影響から回復し、反動の恩恵もあったが、先行きに不安を感じる。
- 政府が掲げた経済対策、持続的賃上げでは減税制度を打ち出してはいるが、中小企業にとって乗られるのかは疑問に感じる。『年収の壁』についても注視しています。



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311  
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル



第一実業株式会社  
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

本社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地  
(御茶ノ水ソラシティ) TEL03-6370-8600 (代)  
大阪支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号  
(ダイビル本館) TEL06-4967-3000  
名古屋支社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4丁目1番1号  
(中日ビル21階) TEL052-728-5471  
URL:<http://www.djk.co.jp>

# 各分類ごとの業況判断 (2023年7～9月期) (前期比・前年同期比)

1. 数字は単純平均%で表示しております

	製 品 別																								
	団 体 別						製 品 別																		
	全 体		中 部 日 本		東 日 本		西 日 本		自 動 車		日 用 品		雑 貨 類		器 器 包 装		電 気 ・ 電 子		住 宅 関 連		医 療 機 器		そ の 他		
	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	前 期 比	前 年 比	
生産高 売上高	増加	32.2	39.4	42.0	48.1	27.5	43.5	26.7	27.9	54.2	64.6	8.0	16.0	30.0	36.7	10.3	10.3	7.1	7.1	20.0	40.0	18.8	28.1		
	横這	42.8	30.1	38.3	32.1	46.4	26.1	44.2	31.4	37.5	24.0	44.0	44.0	43.3	23.3	41.4	37.9	50.0	21.4	60.0	40.0	56.3	37.5		
	減少	24.6	28.8	18.5	19.8	26.1	26.1	29.1	39.5	8.3	11.5	48.0	40.0	26.7	36.7	48.3	48.3	35.7	71.4	20.0	20.0	25.0	28.1		
製品単価	上昇	22.0	45.8	16.0	29.6	27.5	52.2	23.3	55.8	24.0	40.6	8.0	40.0	30.0	66.7	20.7	34.5	14.3	28.6	20.0	60.0	25.0	59.4		
	不変	72.0	46.6	74.1	63.0	69.6	40.6	72.1	36.0	69.8	53.1	88.0	56.0	70.0	26.7	69.0	48.3	71.4	64.3	80.0	40.0	68.8	31.3		
	下降	5.5	5.9	8.6	7.4	2.9	2.9	4.7	7.0	6.3	6.3	4.0	4.0	0.0	3.3	10.3	13.8	7.1	7.1	0.0	0.0	6.3	3.1		
採 算	好転	16.9	28.0	22.2	30.9	13.0	24.6	15.1	27.9	25.0	42.7	4.0	8.0	16.7	30.0	3.4	13.8	7.1	7.1	0.0	20.0	21.9	21.9		
	横這	54.2	40.3	54.3	44.4	53.6	37.7	54.7	38.4	55.2	38.5	40.0	44.0	53.3	40.0	62.1	34.5	57.1	50.0	80.0	60.0	53.1	37.5		
	悪化	28.4	30.1	22.2	24.7	33.3	33.3	30.2	32.6	19.8	18.8	56.0	48.0	30.0	26.7	34.5	48.3	28.6	42.9	20.0	20.0	25.0	34.4		
所定外 労働時間	増加	19.1	22.9	24.7	34.6	21.7	21.7	11.6	12.8	32.3	42.7	4.0	8.0	3.3	6.7	10.3	3.4	14.3	14.3	40.0	40.0	15.6	12.5		
	横這	62.3	55.1	59.3	51.9	60.9	52.2	66.3	60.5	62.5	50.0	64.0	64.0	80.0	76.7	51.7	55.2	42.9	42.9	40.0	40.0	65.6	50.0		
	減少	17.8	19.9	13.6	12.3	17.4	21.7	22.1	25.6	4.2	6.3	32.0	28.0	16.7	13.3	37.9	37.9	35.7	42.9	20.0	20.0	18.8	31.3		
製品在庫	増加	19.5	22.0	16.0	13.6	23.2	24.6	19.8	27.9	17.7	21.9	28.0	16.0	0.0	6.7	24.1	20.7	14.3	21.4	20.0	20.0	37.5	46.9		
	横這	64.4	55.9	71.6	69.1	56.5	49.3	64.0	48.8	67.7	62.5	44.0	32.0	86.7	73.3	62.1	55.2	71.4	57.1	40.0	40.0	53.1	40.6		
	減少	15.3	20.3	11.1	17.3	18.8	21.7	16.3	22.1	14.6	15.6	28.0	52.0	13.3	16.7	13.8	20.7	7.1	21.4	40.0	40.0	9.4	6.3		
材 料 調達単価	上昇	46.2	56.4	32.1	45.7	55.1	60.9	52.3	62.8	42.7	53.1	52.0	60.0	50.0	53.3	48.3	62.1	42.9	35.7	40.0	80.0	43.8	62.5		
	横這	49.2	36.4	60.5	48.1	42.0	33.3	44.2	27.9	54.2	40.6	40.0	24.0	46.7	36.7	48.3	34.5	42.9	57.1	60.0	20.0	50.0	31.3		
	下落	4.2	5.5	6.2	6.2	2.9	1.4	3.5	8.1	3.1	6.3	8.0	16.0	3.3	6.7	3.4	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	6.3	0.0		
総合判断	好転	17.8	27.5	25.9	33.3	14.5	21.7	12.8	26.7	30.2	43.8	4.0	8.0	13.3	33.3	6.9	6.9	7.1	7.1	0.0	20.0	12.5	18.8		
	横這	53.4	38.6	49.4	43.2	53.6	37.7	57.0	34.9	51.0	38.5	52.0	36.0	60.0	36.7	55.2	37.9	42.9	35.7	80.0	60.0	56.3	43.8		
	悪化	27.1	30.5	22.2	21.0	30.4	34.8	29.1	36.0	16.7	15.6	44.0	56.0	26.7	26.7	37.9	48.3	42.9	57.1	20.0	20.0	28.1	28.1		
来期の 見通し	好転	19.1		22.2		15.9		18.6		26.0		12.0		13.3		17.2		7.1		0.0		18.8			
	横這	53.0		54.3		56.5		48.8		59.4		40.0		53.3		48.3		50.0		60.0		46.9			
		23.3		19.8		24.6		25.6		13.5		32.0		26.7		34.5		28.6		40.0		28.1			
	悪化																								

## 各分類ごとの経営上の問題点 (2023年7～9月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		自動車	日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	<b>39.8</b>	26.0	56.0	50.0	58.6	57.1	20.0	40.6
輸出不振	<b>1.7</b>	1.0	4.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.1
製品単価安	<b>32.2</b>	33.3	36.0	40.0	44.8	14.3	20.0	18.8
取引条件悪化	<b>2.5</b>	4.2	4.0	3.3	0.0	7.1	0.0	0.0
過当競争	<b>5.1</b>	7.3	4.0	3.3	0.0	0.0	20.0	6.3
輸入品との競合	<b>0.8</b>	0.0	0.0	3.3	3.4	0.0	0.0	0.0
流通経費増大	<b>17.8</b>	24.0	4.0	10.0	24.1	7.1	0.0	18.8
原材料高	<b>57.6</b>	42.7	84.0	76.7	48.3	71.4	80.0	59.4
借入負担増	<b>5.5</b>	7.3	8.0	6.7	3.4	0.0	0.0	6.3
銀行の貸し渋り	<b>0.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費高	<b>48.7</b>	54.2	32.0	53.3	51.7	71.4	20.0	34.4
採用難	<b>40.7</b>	55.2	24.0	33.3	31.0	28.6	20.0	37.5
技能者不足	<b>26.3</b>	28.1	32.0	30.0	20.7	14.3	20.0	25.0
技術力不足	<b>11.4</b>	5.2	20.0	16.7	13.8	14.3	40.0	12.5
マーケティング力不足	<b>4.7</b>	1.0	8.0	6.7	13.8	0.0	0.0	6.3
設備過剰	<b>1.3</b>	2.1	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
法的規制	<b>2.5</b>	5.2	4.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
為替問題	<b>8.9</b>	6.3	20.0	10.0	10.3	0.0	20.0	12.5
環境問題	<b>3.4</b>	4.2	4.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.3
人材育成	<b>36.4</b>	39.6	40.0	23.3	48.3	35.7	20.0	37.5
研究開発	<b>3.0</b>	2.1	8.0	3.3	3.4	7.1	0.0	3.1
事業承継	<b>2.1</b>	5.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



○「特定技能にかかる緊急アンケート」結果

設問1. 「特定技能」資格による外国人の受入れを希望されますか (単位：社)

	東日本	中部日本	西日本	合計
希望する	17	34	23	74
希望しない	27	22	28	77
今後検討	21	20	11	52

設問2. 当面 (令和6年度から10年度の合計で) 何名の外国人を希望されますか (単位：名)

	東日本	中部日本	西日本	合計
希望する	102	407	194	703

設問3. 何かご希望の点がありましたらご記入ください

- ・ 今後検討 ※同一回答 他1件有
- ・ その他在留資格でも外国人を受け入れ労働契約が可能な方法を拡充していただくことを期待する。
- ・ 人手不足の解消の方法として頼っている。
- ・ 特定技能では電気・電子情報向けの射出成形は認められていると聞いているが、食品向けは認められていないと聞いている。業種における差別とを感じる。
- ・ 現在、当社子会社にて4名特定技能として作業。今後の業種拡大と2号特定技能の詳細緩和に期待する。
- ・ プラスチック製造業のものづくりへの貢献度は非常に高いので、特定技能として認められるべきである。
- ・ 法的注意の勉強会(セミナー)や参考となる資料提示をお願いしたい(自分で調べるのが難しい)。
- ・ 大至急改善望む。現在技能実習生5名中3名は半年以内に帰国。残り2名も1年半で帰国。
- ・ すでに特定技能18名受け入れ。電子デバイス電子回路として受け入れ。特定技能の受入れが大いに必要ということ。
- ・ 特定技能1号の評価試験作成には、初年度より委員の6名が参加して3年間に亘り協力しております。また、今年度より特定1号、2号の有識者委員会にも2名が参加しております。研究会のメンバーとしても作問の検討に加わっていますので、単独での特定技能の職種として設定を早急にしていただきますようお願いいたします。日本人の新卒採用が出来なくなっています(応募が無い)。
- ・ 希望ではなく心配事となりますが、特定技能が受け入れ可能となっても今度は特定技能者側に会社を選ぶ事が出来るため、より時給が良い会社に行くことになり、現状最低賃金はこの30年で倍になりますが、部品単価(協定価格基準)は30年間据え置きになっているため、大手の出すレートには付いていけず人手不足がどこまで解消するかは疑問ですが、働く事ができる人数が増えれば特定技能者か派遣社員のどちらかが大手からこぼれ出て来ることを期待します。
- ・ 11月頃に答申される技能実習制度の改正内容を精査、検討したうえで、技能実習を継続するのか、特定技能に移行するのか、判断したいと考えております。
- ・ 中小企業の実態(現状)プロパー不足に応じた対応を早期に願う。
- ・ 採用難であり、作業不足が深刻な課題です。認定されるととても助かります。
- ・ 現行5年契約満了の実習生たちからも、特定技能資格で働きたいという要望があります。
- ・ 安易に特定技能生として外国人を雇用しないで、地域から雇用できる様な会社にして行くべき。
- ・ 今後の売り上げ状況による

# 石川勝敏氏 (矢作産業) が優勝

## プラス会 第292回例会

開催日 10月11日(水)  
 場所 スプリングフィールドゴルフクラブ  
 スタート 午前8時00分  
 参加者 31名  
 天候 晴れ  
 気温 25.7℃  
 優勝 石川勝敏氏 (矢作産業)



唐突に秋になりおった。

歴史的な酷暑とやらがあれほど続いておったのに、突然朝晩の冷え込みが強くなって、まったく体がついて行かん。まるで神無月の半ばに季節の境界線でもあったかのようじゃ。

そう、物事にはすべからく境界線というものがある。当世でも異国においては“うくらいな”だ“がざ”だとお国の境界線を巡って争いが絶えぬ。これは日ノ本においてもまた同じ。神君家康公が天下人となられる以前は余の領する尾張とて三河、美濃、伊勢の国々と堺を接し、丁々発止とにらみ合っておったものよ。

思い起こせば、尾張と美濃の国境である木曾川を挟み、尾張方の最前線として睨みを効かせる犬山の城。その城主こそ、余が尾張の発展に夢を描いて奔走しておった頃、その右腕となって共に戦ってくれた頼もしき男であった……。



優勝した石川勝敏氏 (右)


順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	矢作産業(株)	石川 勝敏	49	42	91	18	73
2位	(株)サカイ製作所	清水 幸次	59	50	109	36	73
3位	近畿電機(株)	鷺野 賢一	46	47	93	19	74
4位	(株)鈴木化学工業所	鈴木 啓之	46	46	92	17	75
5位	加賀ワークス(株)	小林 繁夫	49	46	95	20	75



そもそも犬山は、扇状地である濃尾平野の扇の要となる要衝の地であり、信長公の叔父である織田信康がここにあった砦を城として改修して以来、ここもまた戦国の栄枯盛衰に翻弄されて来た。

織田・豊臣・徳川の三家が絡み合った“小牧・長久手の戦”の折には豊臣方の本陣が置かれた事もあるこの城は、開祖とも言える織田信康の時代から数えて僅か80年ほどの間に織田、池田、中川、加藤、武田、三好、三輪、石川、小笠原、

**未来素材をオーダーメイド**  
 エンプラのトータルサプライヤーKASAGI

 **笠置産業株式会社**

本社:名古屋市中区泉一丁目17番24号 〒461-0001  
 TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986  
 営業所:浜松・豊川・諏訪 工場:豊川

平岩と目まぐるしく城主が入れ替わり、成瀬家を代々の城主としてようやく落ち着くのが元和3年（1617年）の事。

そして、余が藩主として尾張に入府した翌年、享保17年（1732年）に、その歩みを合わせるかのごとく成瀬家5代当主、そして犬山城の第20代城主となったのが“成瀬正泰（なるせまさもと）”じゃ。

この男、遊興を盛んにし庶民の活力を振興する余の方策に共鳴し、質素儉約を旨として尾張藩を圧迫する幕府の俗物どもとの対立の中、尾張藩附家老として余の為、藩の為、何より民草どもの為に奔走し、残念ながら余が失脚・謹慎を申し付けられた折には「幕府と一戦交えるべし！」とまで言ってくれた股肱の臣。そして犬山城にはその正泰の魂を彷彿とさせる、とある仕掛けがあるのじゃ。

どうじゃ、気付かんか？



犬山城の天守望楼を見ると、髭を蓄え眼下を睥睨する武士の顔立ちに見えるじゃろうが。

これは、対岸の敵国・美濃に睨みを効かせていると言われていて、それは確かにそうであろうとも。だが、余に言わせれば美濃と反対、尾張内陸を向いている逆側のもう一つの顔は、尾張領内、さらには江戸表を遥に望み、下策に拘泥する幕府の阿呆どもや藩内の反宗春派を一喝する正泰の顔に思えて仕方がないのじゃ……。

正泰の思い出に浸って城を見上げていたら、川風が落ち葉を舞い上げて吹き抜けていく。

どれ、秋の名物でも食して遊山の供とするか。

此度目をつけておったのは栗菓子じゃ。

栗菓子といえば誰もが“栗きんとん”を思い浮かべようが、あれは美濃の名物。せっかく犬山に向いたのであれば、これで決まりじゃ。

この【栗羽二重】が誕生したのは昭和初期。



初代店主は親戚一同の集まる場所で栗きんとんの巨大おにぎりをよく作ってあげたそうじゃ。

手間のかかる贅沢品を豪勢に振る舞ってあげられる事こそ、和菓子職人となった誇りと喜び。

じゃが、あまりの贅沢品故、親戚から「遠方に持って帰りたい」という声上がり、なんとか応えてあげようと考えたのが、羽二重餅で包む事で栗きんとんが空気にふれることを極力減らして日保ちをさせるという方法であった。

餅菓子と栗きんとんの境界線を飛び越えるこの発想はさらに【栗きんとんドラ焼き】【栗きんとんまんじゅう】【栗マドレーヌ】などに拡がり、民草どもの口福を産み出しておる。



尾張と美濃の境界線を越えて犬山で栗きんとん。餅と栗きんとんの境界線を越えて栗羽二重。そして、尾張と三河も当世ではその境界線を失くして愛知県。

己の主義主張、境界線にこだわらずお互いを尊重し合う思いがあれば、当世世界もよほど心安らかになるもの……。

## 業界レポート

### [協会・組合の動向]

#### ▼理事会

9月20日（名古屋市工業研究所） 27名

(1)事務局より、第60回永年勤続優良従業員表彰の件につき説明。今年度は60回で30年勤続も表彰の対象とした。審議の結果、原案通り全員一致で可決承認。

(2)令和6年度理事会開催日程について説明。原案通り全員一致で可決承認。

(3)事務局より、令和5年度中部地区業界団体懇談会は愛知県の担当で工場見学先が見つからず講演会に変更したと報告。

(4)事務局より、毎年名古屋産業振興公社と共催の中小企業技能者育成講座の実施要領及び募集内容について説明。

(5)立木技能検定委員長より、令和5年度前期技能検定の経過、後期技能検定の日程について報告。

(6)その他、委員会、青年経営者研究会、年金基金、事務局報告。

10月18日（名古屋市工業研究所） 26名

(1)事務局より、令和6年1月開催予定の新年賀詞交歓会の開催要領について説明。審議の結果、原案通り全員一致で可決承認。

(2)事務局より第60回永年勤続優良従業員表彰の式典、懇親会の次第について説明。

(3)事務局より、中小企業技能者育成講座の申し込み状況について報告。

(4)立木技能検定委員長より、令和5年度前期技能検定の結果、後期技能検定受験申請状況について説明報告。

(5)その他、委員会、青年経営者研究会、年金基金、事務局報告。

#### ▼文化広報委員会

9月27日（名古屋市工業研究所） 6名

(1)161号の反省と162号及び163号（新年賀詞交歓特集号）の企画・編集方針を検討した。

(2)その他

#### ▼中部地区業界団体懇談会

10月25日（名古屋東急ホテル）

〈本文記事参照〉

### [全日本プラスチック製品工業連合会]

#### ▼中央技能検定委員会

10月19日（中央職業能力開発協会）

兄玉、立木

(1)基礎級の圧縮・射出成形作業の問題について検討。

(2)その他

### 告 知 板

#### 【事務所移転】

▽賛助会員 新潟機械(株)名古屋支社

新住所

〒486-0932 春日井市松河戸町2-1-19

TEL (0568) 20-9586 FAX (0568) 20-9589

#### 【社名変更】

▽正会員 第5支部

株式会社 e-プラス

(旧社名 (株)東プラスチック・エンジニアリング)

代表取締役 増田英輔

#### 【訃報】

▽正会員 第7支部 名豊化成(株)取締役会長

福岡輝夫様が9月17日86歳でご逝去されました。

カタにはまらぬ、型と形を

プラスチック

— 金型・成形・二次加工 一気通貫 —



三洋製作所

本社 名古屋市緑区鳴海町下汐田 183 番地 〒458-0801

TEL(052)621-5238 FAX(052)621-3501



愛知県プラスチック成形工業組合が設立した

従業員の皆様の豊かな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形企業年金基金

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-4-6

桜通大津第一生命ビル12階

TEL(052)211-8081 FAX(052)211-8028

aipia-kikin@joy.ocn.ne.jp